



星空通信

2024年8月号

- 4日 新月/水星が留
- 10日 伝統的七夕/スピカ食
- 12日 ペルセウス座流星群が極大
- 13日 上弦
- 19日 水星が内合
- 20日 満月
- 26日 下弦
- 28日 水星が留

用語解説

ないごう内合…地球-内惑星-太陽と並んだ時

りゅう留…惑星が順行⇔逆行へ変わる時、地球から見た天体上で、太陽からもっとも離れる瞬間。

★今月の惑星情報★

水星

月初は日の入り後の西の低空に位置、徐々に高度を下げる。19日に内合となり以後は日の出前の東の空に位置。下旬には徐々に高度を上げるが、見かけの位置が太陽に近く、観察は難しい。

金星

日の入り後の西の低空に見える。明るさは-3.9等。

火星

おうし座を東に移動。日の出前の東の空に見え、明るさは0.9等~0.7等。

木星

おうし座を東に移動。日の出前の東の空高く見え、明るさは-2.1等~-2.3等。

土星

みずがめ座を西に移動。真夜中の南東から南の空に見え、明るさは0.8等~0.6等。

夏休み(7/20~8/25、7/8は休館日)は自由開放!ぜひ来てね!



伝統的七夕 ★★★★★

旧暦の7月7日にちなんだ、かつての七夕の頃を、国立天文台では「伝統的七夕」と呼ぶことにしているそうです。今年は8月10日が伝統的七夕にあたります。

伝統的七夕の日、日暮れの頃には半月よりもやや細い月が、南西から西南西にかけての空に見えます。夜空が十分に暗くなり星々が輝き出すと、頭の真上近くに七夕にちなんだ織姫星と彦星を見つけることができるでしょう。

さらに、はくちょう座の1等星デネブと結んでできるが、夏の大三角です。ぜひみなさんも夜にお空を見上げてみてください。

